

平成 28 年度事業報告書

特定非営利活動法人 自遊の広場

1 事業の成果

小規模多機能居宅介護すずかけの家の運営では、利用希望者が増えた。すずかけの家の地域での認知度があがったのと同時に、在宅希望者が増えている背景があるのかもしれない。

その他の活動としては、各種イベントを通じて、利用者の過ごし方を充実させるとともに、地域との交流を進めることができた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア) 小規模多機能型居宅介護の運営に係る事業

○内容:28 年度事業計画では、地域で暮らすための「訪問」を充実させ、「通い」でも、バリエーションに富んだ内容で、居心地のよい場所づくりを継続するという目標を立てた。28 年度は、1 か月あたり 80 回訪問が増えた。通いでは、地元篠原の利用者が増え、人間関係の調整が求められた。

利用者が増えたことに伴い、多様なニーズへの対応も必要となった。利用者を細分化するなど、多様な取り組みができるよう、きめ細かな工夫が求められている。単に「介護」をこなすのみでなく、多様な暮らしのニーズに関わることで、達成感も生まれている。

地域との関係では、「ゆずカフェふじの」や「RUN 伴」に積極的に参加し、地域での多職種協働の追求と発信をすすめた。認知症カフェとして、4 月から毎月 1 回、藤野地域内の場所を変えて開催されている「ゆずカフェふじの」の運営に、すずかけの家も参加した。うち 7 回に、すずかけの家の利用者も参加した。また、共同保育の子どもたちとその親がすずかけの家を訪問し、利用者との交流を深めた(計 8 回)。さらに、相談事業として、介護・福祉のよろず相談窓口を開いた。今後はさらに、藤野全域を視野に活動を広げたい。一方、防災関係では、地域とのつながりが薄く、今後の改善が求められている。

職員研修としては、前年度に引き続き、ケース検討の内部研修を月 2 回程度実施した。その結果、議論が活発に行われ、介護現場に活かされていることは評価できる。また、「みどり北をつなぐ会」主催の研修を始めとして、様々な外部研修に参加した。

○日時:通年

○場所:すずかけの家及び訪問家庭、外出先

○従事者:のべ 2,961 人

○受益対象者:のべ 5,953 人

○支出額:35,749,683 円

イ) おたのしみ講座じじばば自由大学に係る事業

○内容・日時 夏祭り(8 月 24 日、8 月 27 日)、元気を祝う会(敬老会)(9 月 21 日)、のびるっこ保育園交流会(9 月)、そば打ち(12 月 9 日)、津久井在来大豆の味噌作り(3 月 14 日)

○場所:すずかけの家

○従事者:96 人

○受益対象者:69 人

○支出額:0 円(今年度は、上記アより経費を負担したため)

ウ) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業—イベント事業

○内容(日時/場所)

地域との交流を図り、団体の活動を広めるため、次の主催事業を開催した。

・落語会(6 月 26 日/すずかけの家)

地域との交流を図り、団体の活動を広めるため、次の地域イベントに参加した。

- ・ぐるっとお散歩篠原展(10月10日/緑区牧野・篠原地区)
- ・牧野公民館まつり(10月16日/牧野公民館)
- ・里の市(12月3日/篠原の里)

○従事者:35人

○対象者:500人

○支出額:148,739円

(2)その他の事業

なし